

令和2年度（第3回②）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和2年10月8日（木） 10時00分～11時15分
 - 2 開催場所 志方公民館
 - 3 出席委員 熊谷委員、田上委員、高瀬委員、山本委員、鹿多委員（5名）
 - 4 欠席委員 0名
 - 5 出席職員 杉本教育指導部次長、志方公民館（有原館長）、社会教育・スポーツ振興課（福島課長、尾崎係長、今井主事、藤本主事）
 - 6 傍聴者 0名
 - 7 議事要旨
- 開会 10時00分

（協議事項）

加古川市立公民館の今後のあり方について

（志方公民館より事業概要等について説明・事業及び施設見学）

委員

普段地元の平岡公民館しか行く機会がないが、初めて志方公民館を訪れ、平岡公民館にない良さがあると感じた。平岡エリアでは、児童館や図書館は公民館とは別の場所にあるので、児童館や図書館がひとつの場所に集約されているのは便利であると感じた。一方で、数や広さの面ではデメリットもある気がする。実際に見学をし、住民同士のつながりの希薄化が進んでいる中で、地域との密着力があり、公民館に行けば誰かに会えるという場になっていると感じた。

委員

「集う」場としての役割が大きいと感じた。図書館の本は昔読んでいたようなものもあり、懐かしさを感じられた。図書館の閲覧スペースが小さいように思えたのが残念である。また、喫茶が稼働していないので、談笑スペースも少し寂しく思えた。

委員

児童館から見える景色が素晴らしく、子どもたちが伸び伸びと活動できることが羨ましく思えた。「利用者が、庭に咲いた花を持ってきてくれることもある。」という話を聞き、良いことだと思った。集会室で活動するには、少し部屋が狭いように感じた。

委員

志方町は加古川市内でも最も面積が大きく、公民館エリアが広すぎるという点が挙げられる。志方中地区の方にとっては公民館が近くにあり便利だが、志方西地区や東地区の方は公民館に来るのが困難である。コミュニティバスも走っているが、一部の地域のみであり、公民館へ行くための手段が不足している。今後は、西地区にある地域産業振興センターや、東地区にあるしろやま農業研修センターとの連携が必要になってくると思う。

委員

安全面を考慮した上で、バルコニーが何か活用できれば面白いのではないかと思う。地元の公民館に行き、知り合いに会うことで、自分の育った場所であるという実感が湧く。公民館は地域の仲間を確認できる場であり、仲間を大事にできる場になっていると思う。稲岡文庫からの寄贈もあり、他の公民館に比べて蔵書数が多いので、今後もより多くの方に利用してもらいたいと思う。一般の方が読まなくなった本を寄贈されることもあるのか。

志方公民館長

一般の方から寄贈したいとの電話をもらうこともあり、本の状態や内容を確認した上で、受付させてもらっている。ただし、汚れが目立つものや書き込みのある本などについては、お断りすることもある。毎年新しい本を購入するようにしている。古い本が多く、他の図書館にはない本が志方公民館には置いてあるということも貴重なことではないかと思っている。

委員

高齢者大学の講座（認知症に関すること）を聞かせてもらったが、「あなたが忘れても私は覚えている」という言葉が印象的であった。高齢者大学に参加することで、定期的に講義を受けられるというのは良いと思う。

（その他）

特になし

○ 閉会 11時15分

以上